

平成29年度における読書活動 推進施策について（報告）

－身近なところで本に親しめる環境づくりを－

写真：読書活動推進パートナー支援事業により設置した図書コーナー



▲スーパーセンターアマノ井川店（井川町）



▲由利組合総合病院（由利本荘市）
「ぴあサロンホッとひといき」



◀（株）ヤマダフーズ（美郷町）
（食育講座参加者に貸出し）

▼みんなの作戦会議室
「かもや堂」（藤里町）



◀多世代交流館
「みんなのお家
だんらん」（小坂町）

平成30年6月
秋田県読書活動推進本部



目 次

I	はじめに	1
II	第2次基本計画の概要と施策推進状況	2
III	読書活動推進施策	7
1	家庭における読書活動の推進	
◆	あなたの「読みたい！」をサポートします	
(1)	「家族で読書」運動の提唱と普及	7
(2)	子どもの読書推進	7
(3)	中・高校生の読書推進	9
(4)	高齢者の読書推進	9
(5)	図書館の利便性向上と利用促進	10
◆	「読書は楽しい！」の気持ちを広げます	
(1)	読み聞かせお薦め絵本の紹介	11
(2)	ホームページやブログ等を活用した情報発信	11
2	学校・職場における読書活動の推進	
◆	あなたの「読みたい！」をサポートします	
(1)	就学前施設における読み聞かせの推奨	13
(2)	子どもの発達の段階に応じた読書活動支援	13
(3)	学校図書館の活性化支援と地域開放	14
(4)	大学図書館と県立図書館との連携強化	16
(5)	職場における読書環境の整備	16
(6)	仕事や就労に関連する読書支援	17
◆	「読書は楽しい！」の気持ちを広げます	
○	児童・生徒・学生の読書への興味・関心を高める取組	18
3	地域における読書活動の推進	
◆	あなたの「読みたい！」をサポートします	
(1)	様々なシーンで読書に親しむ活動の推進	20
(2)	市町村立図書館等の利用促進	24
◆	「読書は楽しい！」の気持ちを広げます	
(1)	読書ボランティア等への支援	26
(2)	「秋田県読書フェスタ」の開催	27
(3)	デジタルアーカイブの活用促進	27

4 県民協働による読書活動の推進

◆あなたの「読みたい！」をサポートします

- (1) 県と市町村との協働による推進体制の強化 28
- (2) 県民の寄贈によるリレー文庫の普及 29
- (3) 青少年健全育成における読書活動の推進 29
- (4) 高齢者への読書活動推奨 29
- (5) 視覚障がい者の読書推進 30
- (6) 民間企業・団体等との連携による読書活動の推進 30

◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

- (1) 「ビブリオバトル」の普及と大会開催 32
- (2) 「読書絵はがきコンクール」の開催 32
- (3) 幼少期からの読書活動推進体制の強化 33
- (4) 「県民読書の日」の啓発 33
- (5) 読書の楽しさを伝えるために活動している県民の紹介 . . . 35

5 効果測定項目と数値目標・実績一覧 36

I はじめに

読書活動は、県民が人生を豊かに生きる上で大切なものであり、文化的で豊かな社会の構築にも寄与することから、県では、「秋田県民の読書活動の推進に関する条例」（以下「条例」という。）を制定し、平成22年4月1日から施行している。

また、条例に基づき、平成23年3月に「第1次秋田県読書活動推進基本計画」（以下「第1次基本計画」という。）を、平成28年3月に「第2次秋田県読書活動推進基本計画」（以下「第2次基本計画」という。）を策定し、読書活動の推進に関する施策を総合的・計画的に進めている。

本報告は、条例第4条第2項に基づき、平成29年度に第2次基本計画により実施した施策を議会に報告するため、その概要を取りまとめたものである。

○ 秋田県民の読書活動の推進に関する条例【抜粋】

（県民読書活動推進基本計画）

第四条 県は、県民の読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、県民の読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「基本計画」という。）を策定するものとする。

2 県は、毎年、基本計画により実施した施策を議会に報告するものとする。

3 県は、必要があると認めるときは、基本計画を変更するものとする。

《 読書活動推進体制 》 平成30年4月1日現在

●秋田県読書活動推進基本計画の進行管理

秋田県読書活動推進本部《知事を本部長とし、各部局長で構成》

●施策の一体的推進

秋田県読書活動推進連絡会
《庁内関係12課所で構成》

総合政策課	長寿社会課	障害福祉課
次世代・女性活躍支援課		
教育庁総務課	幼保推進課	義務教育課
高校教育課	特別支援教育課	生涯学習課
県立図書館	生涯学習センター	

●市町村との協働による推進

秋田県読書活動推進連絡協議会
《県と25市町村で構成》

市町村企画担当課
市町村教育委員会読書活動推進担当課
県企画振興部総合政策課
県教育庁総務課
県教育庁生涯学習課

◎事務局

〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

秋田県読書活動推進本部（秋田県企画振興部総合政策課県民読書推進班）

TEL：018-860-1216

FAX：018-860-3873

E-mail：seisaku@pref.akita.lg.jp

※秋田県読書活動推進総合ホームページ「あきたブックネット」

Ⅱ 第2次基本計画の概要と施策推進状況

第2次基本計画のねらい 生活の場に根付いた読書活動の推進

第2次基本計画の施策体系の4つの柱

- 1 家庭における読書活動の推進
- 2 学校・職場における読書活動の推進
- 3 地域における読書活動の推進
- 4 県民協働による読書活動の推進

県民運動推進の視点

- ・あなたの「読みたい！」をサポートします
- ・「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

目標(H32)

- 「本を読むのが好きだ」「読書習慣がある」と答える県民の割合が80%以上
- 週3時間以上(1日30分以上)読書をしている人の割合が70%以上

県では、条例に基づき、第1次基本計画（平成23年度～27年度）により、県民の読書活動の推進に取り組み、「県民読書の日」の制定や県民参加の読書活動を展開した。また、市町村立図書館や公民館図書室、学校図書館を拠点とする地域の読書環境の充実に努めたほか、全市町村で「子ども読書活動推進計画」を策定するなどの成果を上げてきた。

第2次基本計画（平成28年度～32年度）では、「家庭」「学校」「職場」「地域」という県民の生活の場に応じて、県民の共感を高めながら施策を展開するとともに、市町村、企業、民間団体等と連携・協力し、県民総ぐるみの読書活動を一層盛り上げていくこととしている。

県民が、いつでも、どこでも、だれでも、本に親しむことができる環境の中で、読書でコミュニケーションや仲間づくりを広げ、これからの地方創生を支える人づくりにつなげることにより、県民や民間団体等による『高質な田舎』を実現し、「日本一の読書県」を目指していく。

平成29年度施策推進状況

1 家庭における読書活動の推進

家族で読書を楽しみ、読書習慣の形成と家族間のコミュニケーションを図るため、「家族で読書おススメ50選vol.2」のパンフレットを全小学校1年生に配布したほか、市町村との協働により子育て支援の視点で市町村立図書館等を紹介するリーフレット「絵本であそぼ！ー8地域版ー」を作成し、幼稚園や保育所等へ配布した。

県立図書館においては、子どもの読書を推進するため、子ども向け資料の計画的な整備や、読書に関する相談活動・おはなし会を実施した。また、中・高校生の図書館利用を促進するため、「teens'コーナー」の資料整備を図り、ティーンズ世代の悩み解決に役立つ本や、ティーンズ向けの絵本・雑誌を配置した。

図書館の利便性向上と利用促進に向けては、資料収集方針に沿った選定を計画的に実施し、所蔵資料の充実を図るとともに、健康や介護、子育てなど、生活上の課題解決のための資料を生活支援コーナーとして充実させたほか、金融セミナー等を実施した。

また、多様なジャンルの大活字本の提供やボランティアによる朗読サービス等により、視力が低下した高齢者等の読書を支援したほか、読み聞かせお薦め絵本として選定した「マザーズ・タッチ文庫」や各種サービス・イベント等の情報を、ホームページや SNS で定期的に発信した。

2 学校・職場における読書活動の推進

教育庁の専門職員が、小・中・高等学校14校を訪問し、学校図書館の環境整備や活用状況について調査するとともに、先進事例の紹介や改善のための助言を行った。また、「読書活動だより むすぶ」で、文部科学大臣表彰を受けた学校など、特色ある取組等を紹介し、広く情報を共有した。

乳幼児が本に親しみをもつことができるよう、幼稚園等の保育者に対して、読み聞かせの推奨や指導・助言を行ったほか、新規採用者に対し、読書及び読み聞かせに関する研修を実施した。

また、小・中・高等学校及び特別支援学校においては、子どもたちの発達段階に応じ、読書活動をサポートする情報提供を行うなど、読書意欲の喚起や読書環境の充実に努めた。

県立図書館においては、高等学校・特別支援学校の図書館担当者からのリクエストを受けて、図書セット資料を大幅に更新し、児童生徒の読書環境の整備を支援したほか、県立図書館と相互協力協定を締結している大学図書館間で、各館の所蔵資料を活用し、相互貸借を推進した。

職場における読書活動については、企業内文庫の先進事例として秋田ノーザンハピネッツ(株)の取組を紹介するリーフレットを作成し、普及に努めた。また、住民が身近な施設で読書に親しめる環境づくりに取り組む市町村を支援する「読書活動推進パートナー支援事業」をスタートさせ、読書時間の確保が難しい働き盛り世代等の読書環境の整備を図った。

3 地域における読書活動の推進

プロスポーツチームと連携し、選手やスタッフが読書を勧めるポスターやリーフレットを配布したほか、市町村立図書館に対し、リーフレット掲載図書の貸出パックを提供した。さらに、マスコットキャラクターが市町村立図書館等に出向き、絵本の読み聞かせを利用者と一緒に楽しむイベントを開催するなど、スポーツが持つ集客力や情報発信力を活用して、県民が読書に親しめる環境づくりを行った。

また、「秋田県花いっぱい運動の会」や「子育て応援団実行委員会」など、様々な県民運動と連携したイベントを実施したほか、4月23日の「子ども読書の日」及び「こどもの読書週間」における取組の周知に努めた。

生涯学習センターにおいては、文学関連の講座修了生による自主学習グループの活動継続を支援するなど、読書に親しむ活動を様々なシーンで推進した。

市町村立図書館等の利用促進に向けては、「読書活動だより むすぶ」で県内の様々な取組を紹介するとともに、県立図書館や県子ども読書支援センターの資料の市町村立図書館への貸出しや、職員等を対象とした研修会の開催などを行った。

読書ボランティア等への支援については、世代別ボランティア養成講座や、そのネットワーク化を図るためのボランティア交流会の開催等を行い、活動のスキルを向上させるとともに、活動上の課題となっている後継者の育成を図った。

さらに、11月1日の「県民読書の日」を中心とする2週間（10月21日（土）～11月5日（日））を「秋田県読書フェスタ」期間とし、中・高校生ビブリオバトル全県大会等の県主催事業のほか、全ての市町村の図書館・公民館等において、おはなし会や講演会の読書イベントを集中的に開催することで、地域における読書活動推進の気運を高めた。

4 県民協働による読書活動の推進

平成28年5月に設置した「秋田県読書活動推進連絡協議会（県・市町村の企画担当課と教育委員会読書活動推進担当課で構成）」において、公立図書館や学校図書館の現状について情報交換を行ったほか、県と市町村が協働で、「読書活動推進パートナー支援事業」に取り組んだ。

県民からの寄贈による「読んだッチ・リレー文庫」については、保育所や病院などに配置し、子どもたちの身近な場所での読書環境づくりを推進したほか、青少年健全育成審議会で推奨された優良図書を県民に周知し、青少年健全育成における読書活動を推進した。

また、秋田LL大学園などの関係団体を通じ、高齢者の読書意欲喚起のための情報提供を行ったほか、秋田県点字図書館においては、ボランティアの協力により、点字図書や音声図書等の制作を行い、視覚障がい者の読書機会の充実に努めた。

民間企業・団体等との連携については、企業が雑誌のスポンサーとなり、県立図書館等への雑誌の提供により、雑誌コーナーの充実を図ったほか、書店団体等と連携したイベントなどを実施し、県民の読書活動を推進した。

「ビブリオバトル」については、平成29年度に初めて中学生大会を開催したところ、県内の6書店において紹介本コーナーが設けられるなど、民間の活動が促進された。

11月1日の「県民読書の日」の啓発事業として、開催市である横手市や民間団体、企業と連携して実施した「ふるさと文学と読書のつどいin横手」では、映像放映や作品朗読、読書に関する座談会などを行ったほか、秋田をテーマとして募集した「ふるさと秋田文学賞」の表彰式を行い、県民の読書活動への関心を高めた。

生涯学習センターでは、私設図書館や読み聞かせボランティアグループなどを「行動人^{こうどうびと}」としてウェブサイトで紹介し、読書推進に主体的に取り組む県民の活動を支援した。

また、平成29年6月に「企業版ふるさと納税制度（地方創生応援税制）」対象事業に認定された「読書が広がるホップ・ステップ・ジャンプ事業」と「読書活動推進パートナー支援事業」については、平成29年度から平成31年度までの3年間に実施することとしている。

なお、平成29年度の「読書が広がるホップ・ステップ・ジャンプ事業」の実施概要は5頁に、「読書活動推進パートナー支援事業」の実施概要については6頁に記載のとおりである。

平成29年度「読書が広がるホップ・ステップ・ジャンプ事業」について

○事業概要

県教育委員会では、読書を親しむ多様な機会の提供や、読書の楽しさを発信できる人材の育成等を通じて、県民の読書習慣の一層の向上に向けた取組を推進するため、出版関係企業や団体等との連携により、平成29年度から31年度まで「読書が広がるホップ・ステップ・ジャンプ事業」を実施している。

○取組内容

読書に親しむ段階を、ホップ（読書との出会い）・ステップ（読み聞かせをして本の楽しさを伝える）・ジャンプ（読書の価値や意味を発信する）の三つに分け、それぞれの段階に応じた取組を行った。

I ホップ ～さまざまな読書の楽しみ方の提案・啓発

- ①読書が広がるホップ・ステップ・ジャンプ事業 記念シンポジウム
 - ・7月20日（木） 県庁第二庁舎 大会議室 参加者数186名
- ②朝の読書シンポジウム
 - ・「朝の読書」の啓発と推進のためのシンポジウム
 - ・11月12日（日） 県生涯学習センター 参加者数60名
- ③本の魅力を紹介するFMラジオ番組の放送
 - ・10月～12月の毎週日曜日（5分間番組全14回）
- ④超大型絵本のおはなし会・絵本作家のおはなし会
 - ・4会場 参加者数合計1,038名
- ⑤調べ学習講座
 - ・小学生や教員等を対象とした百科事典の調べ方講座
 - ・6会場 参加者数合計248名



超大型絵本のおはなし会



調べ学習講座

POP作り研修講座



II ステップ ～読書の楽しさを伝える人材の育成

- ①世代別読み聞かせボランティア養成講座 →実績はp. 26に掲載
 - ・高校生・パパママ・シニアコース 参加者数合計139名
- ②全県読み聞かせボランティア交流会 →実績はp. 26に掲載
 - ・秋田市で開催 参加者数60名
- ③POP作り研修講座
 - ・児童・生徒や教員等を対象としたおすすめ本POPの作り方講座
 - ・9会場 参加者数合計164名

III ジャンプ ～読書の喜びを発信

- ①ビブリオツアー
 - ・中・高校生と作家との座談会、ビブリオバトル全国大会の見学等
 - ・平成30年1月27日（土）～28日（日）
 - 参加者数9名（中学生5名・高校生4名）
- ②世代別ビブリオバトル大会 →実績はp. 32に掲載
 - ・地区大会 中学生5会場・高校生6会場 出場者数70名
 - ・全県大会 平成29年11月3日（金） 出場者数20名



中・高校生と作家との座談会

○その他

秋田県書店商業組合等との連携により、おはなし会やビブリオバトル等の会場で、関連図書や絵本の販売が行われた。また、教職員や図書館職員等を対象とした児童図書展示会が県内3会場で開催され、広報や後援による協力を行った。

平成 29 年度「読書活動推進パートナー支援事業」について

○事業概要

県では、「日本一の読書県」を目指して、県民が身近な所で読書に親しむことができる環境づくりを進めるため、企業や団体、市町村との連携により、平成 29 年度から 31 年度まで「読書活動推進パートナー支援事業」を実施している。

○取組内容

企業や団体の施設内や地域のコミュニティスペースなどに図書コーナー等を設置した 5 市町に対し、図書や本棚の購入費などの初期費用を助成した。

H 29 取組状況（5 市町 8 施設に設置）

※設置の様子については、表紙写真参照

市町村名	設置施設	整備内容	利用状況（企業等の協力）
井川町	○スーパーセンターアマノ井川店	・図書 126 冊 ・本棚 2 台	・町が唯一のショッピングセンターへの無料買物バスを運行。センターの経営企業が、町の読書推進パートナーとして、補助額を超えた分の 2 万 7 千円余りを負担して設置した。
由利本荘市	①由利組合総合病院「ぴあサロンホッとひといき」 ②赤田地区お互いさまスーパー	・図書 54 冊 ・本棚 2 台	①入院・通院する市民をはじめ、周辺住民や病院関係者に開放し、貸出しやリクエストに対応。“情報を得やすく、安心感がある”として市民から好評を得ている。 ②買物弱者支援と地域のコミュニティの場となるお互いさまスーパーの運営組織による図書コーナー。読書支援と共に、市内外からの買物客とのコミュニティを広げる役割も目指している。
美郷町	○株式会社ヤマダフーズ	・図書 83 冊 ・ブックカバーフィルム等消耗品	・工場見学などを積極的に受け入れ、地域住民とのつながりも強い企業。CSR活動の食育講座で、会社のマスコットキャラクターにちなんだ「なっちゃん文庫」を開設。講座参加者等に貸出し等を行うことにより、住民の読書意欲の喚起と図書館利用のきっかけづくりを行う。
藤里町	①いとく藤琴店休憩スペース ②みんなの作戦会議室「かもや堂」	・図書 101 冊 ・ブックスタンド 3 個 ・本棚 1 台	①町で唯一のスーパーで町民のほとんどが日常的に利用。買物後のバス時間待ちや待ち合せ時に本を手にとれる環境が充実し、企業もパートナーとしての協働体制を明確にして取り組んでいる。 ②旧食堂をリノベーションしたコミュニティスペースで、地域おこし協力隊の活動拠点。幅広い年代が利用する施設のため、本への興味も喚起しやすい。
小坂町	①小坂町診療所 ②多世代交流館「みんなのお家だんらん」	・図書 151 冊	①多くの町民が受診の待ち時間に利用している。 ②誰でも気軽に集える多世代交流拠点。通院、買い物、散歩途中などに多くの町民が利用している。

Ⅲ 読書活動推進施策

1 家庭における読書活動の推進

◆あなたの「読みたい!」をサポートします

(1)「家族で読書」運動の提唱と普及

家族で読書を楽しみ、読書習慣の形成と家族間のコミュニケーションを図るため、「家族で読書おすすめ50選vol.2」のパンフレットを、全小学校の1年生を対象に入学時に合わせて配布した。



◀「家族で読書おすすめ50選vol.2」パンフレット

○配布部数

全小学1年生と小学校 7,498部(199校)

パンフレットでは、「子どもに絵本を読み聞かせる時間は、大人にとっても読書を楽しむ時間です」と語りかけている。

❖参考DATA《県民意識調査》

週3時間以上(または1日30分以上)読書をする人の割合

: (H29) 40.1%

(2) 子どもの読書推進

①子ども向け資料の充実

県立図書館の「えほんのへや」「調べ学習コーナー」の資料の計画的な整備を図り、様々なテーマでの月替わりの絵本展示のほか、こどもの読書週間(4/23~5/12)や夏休み期間に合わせた児童書の展示等を実施し、子どもの図書館利用を促進した。

❖参考DATA

県立図書館における0~12歳の年間新規登録者数: (H29) 455人

②子どもの読書に関する相談活動、おはなし会等の充実

「えほんのへや」で、県子ども読書支援センターの子ども読書アドバイザー等による読書に関する相談活動を年間69日実施し、224件の相談が寄せられた。おはなし会は、24回実施し、577人が参加した。

また、県子ども読書支援センター支援員(読書ボランティア)が作成した年齢

別・テーマ別のお薦め本リストを提供するなど、子どもの年齢や興味・関心に応じた読書ができるよう支援し、様々な本に接する機会を増やした。



▲夏のおはなし会の様子



▲年齢別・テーマ別のお薦め本リスト

③医療・保健分野との連携による子どもの読書習慣づくり

市町村と協働して、子育て支援の視点で市町村立図書館等を紹介するリーフレット「絵本であそぼ！ー8地域版ー」を作成し、医療機関等に配布することにより、幼少期からの読書習慣の大切さと図書館利用を呼びかけた。



◀「絵本であそぼ！」
リーフレット裏面
(秋田市版)

県内を8地区に分け、表面は子育て中の親に図書館利用を呼びかける内容を記載し（8地区共通）、裏面は各地区ごとの公立図書館の情報を記載して、各地区の施設に配布した。

▲「絵本であそぼ！」リーフレット（表面は8地区共通）

○配布状況

・医療機関（小児科・産科・婦人科等）	179か所
・幼稚園・保育所・認定こども園	319か所
・子育て支援施設・センター	75か所
・公立図書館等	76か所
計	649か所

(3) 中・高校生の読書推進

県立図書館の「teens'コーナー」の資料を整備し、進路・趣味・部活・心や体など、ティーンズ世代の悩み解決に役立つ本や、ティーンズ向けの絵本、雑誌を配置して、中・高校生の図書館利用を促進した。



▲ t e e n s 'コーナー

❖参考DATA

県立図書館における13～18歳の年間新規登録者数：(H29) 157人

(4) 高齢者の読書推進

①高齢者向け資料の整備、シニアコーナーの充実

県立図書館の「シニアコーナー」に趣味や生きがいに関する資料を整備し、多様なジャンルの大活字本を収集・提供して、高齢者の図書館利用を促進した。



大活字本コーナー▶

❖参考DATA

県立図書館における60歳以上の年間新規登録者数：(H29) 277人

②高齢者などへの読書支援

視力が低下した高齢者や障がい者のためのボランティアによる朗読サービス（電話や対面）や、障がい者と健常者が一緒に参加できる朗読会等の情報について、出前講座やSNS等で周知を図った。

また、インターネット環境がない高齢者などであっても「ふるさと秋田文学賞」の受賞作品を読むことができるように、作品本文のみのコピー郵送サービス（送料は本人負担）を行い、15件の利用があった。

❖参考DATA

電話（対面）朗読ボランティア活用者実数：(H29) 14人

※秋田市立図書館では、次の朗読ボランティアグループが視覚障がい者のための電話（対面）朗読サービスを行っている。利用者が固定化する傾向が

あるため、高齢者等が気軽に利用できるよう、体験デーなどを設けて「聴く読書」の楽しさを理解してもらう取組をしている。

- ・レモンの会（明德館）（H29）電話朗読 243件
- ・かもめ（土崎図書館）（H29）電話朗読 490件
対面朗読 30件

（５）図書館の利便性向上と利用促進

①県立図書館の資料の整備と充実

多様な読書ニーズに対応できるよう、資料収集方針に沿った選定を計画的に実施した。また、専門的な外部機関から資料選定について協力を得て、所蔵資料の充実を図った。

❖参考DATA

県立図書館における年間購入冊数：（H29）13,967冊

②生活課題解決のための読書や図書館利用の促進

県立図書館における健康や介護、子育てなど、生活上の課題解決のための資料整備や、関係機関のパンフレットの提供等により関連コーナーの充実を図ったほか、金融に関するセミナーを実施した。また、県内の市町村立図書館等に対し、課題解決支援サービスについての情報提供やコーナー設置の助言等を行った。



▲生活支援コーナー



▲金融セミナーの様子

❖参考DATA

「課題解決支援サービスを知っている」と答える利用者の割合《隔年調査》
：（H29）68.0%

「課題解決支援サービスに満足している」と答える利用者の割合《隔年調査》
：（H29）85.9%

市町村立図書館等のサービス実施館数：（H29）51館

③県民の読書ニーズに対応できるサービス機能の強化

多様なニーズに対応できるよう、県立図書館の参考図書や商用データベースの整備のほか、職員の資質向上のための研修を実施することにより、レファレンス・サービス*機能を強化した。

※レファレンス・サービス

資料・情報を求める利用者に対して図書館が行う文献の紹介・提供などの援助のこと。

❖参考DATA

「レファレンス・サービスを知っている」と答える利用者の割合《隔年調査》
：(H29) 59.6%

「レファレンス・サービスに満足している」と答える利用者の割合《隔年調査》
：(H29) 91.1%

④電子書籍を活用した図書館サービスの充実

スマートフォンやタブレット端末で閲覧できる電子書籍サービスを提供した。

❖参考DATA

県立図書館の電子書籍所蔵点数：(H29) 4,906点

年間利用点数：(H29) 24点

◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

(1) 読み聞かせお薦め絵本の紹介

親と子どもが心のふれあいを深め、子どもの健やかな成長を図るため、0歳から小学校低学年までを対象とした読み聞かせにお薦めの絵本「マザーズ・タッチ



文庫」52冊を選定し、リーフレットや毎週日曜日の秋田魁新報読書欄のほか、ウェブサイトあきた子育て情報「いっしょにねっと。」で紹介した。

◀県児童会館2F図書室にある「マザーズ・タッチ文庫」コーナーの絵本を読んでもらう子どもたち

(2) ホームページやブログ等を活用した情報発信

県立図書館のサービスやイベント等の情報をホームページで定期的に発信し、図書館の利用促進を図った。

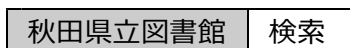
また、県の総合読書活動推進ウェブサイト「あきたブックネット」において、イベ

ント等の情報を発信したほか、公式Twitter「あきたブックネット」を開設し、県内外の読書に関する新しい情報を随時提供した。



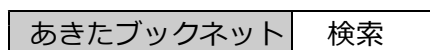
◀ 県立図書館ホームページ

館内の様々な案内やイベントの様子を定期的に発信している。



▲ ウェブサイト「あきたブックネット」

公式Twitter「あきたブックネット」▶
(平成30年1月開設)



❖ 参考DATA 《アクセス数（H29）》

県立図書館ホームページ	243,945件
ウェブサイト「あきたブックネット」	9,347件
Twitter「あきたブックネット」(平成30年1月開設)	51,243件

2 学校・職場における読書活動の推進

◆あなたの「読みたい！」をサポートします

(1) 就学前施設における読み聞かせの推奨

乳幼児が本に親しむことができるよう、各幼稚園・保育所・認定こども園等の訪問時において、保育者に対して読み聞かせを推奨するとともに、その方法、図書コーナーの在り方について適宜指導・助言を行った。

また、新規採用者に対しては、「豊かな心を育む絵本の読み聞かせ」と題して、読書及び読み聞かせに関する研修を実施した。



◀新規採用者研修の様子

○開催状況

平成29年11月24日（金）

於 秋田県総合教育センター

○講師

金田 昭三氏（児童文化研究家）

○参加者数

127名

❖参考DATA

受講者の肯定的評価の割合：（H29）90.0%

(2) 子どもの発達の段階に応じた読書活動支援

①小・中学校における取組

ボランティアによる読み聞かせや校内でのビブリオバトルといった児童生徒の発達段階に応じた読書活動サポート情報の提供を行うなど、各学校で読書意欲を喚起する諸活動の充実を図った。

また、学校図書館・公立図書館・ボランティア等のネットワーク化による読書環境の充実についての情報を提供し、読書の啓発を行った。

❖参考DATA

「読書が好き」と答える児童生徒の割合：（H29）55.0%

②高等学校における取組

読書への意識啓発と図書委員会*の主体的な活動の充実を図るとともに、家庭科の学習において、絵本の読み聞かせ等の実習を奨励し、将来、親になったときに子どもに読み聞かせをすることの意義について理解を深めた。

※図書委員会

生徒会活動の一つで、学校図書館に関する活動を行う委員会。

③特別支援学校における取組

学校訪問や会議の機会に、読書環境の重要性について情報提供し、更なる取組の実施を働きかけた。各校では、校舎の様々な場所を活用して幼児・児童・生徒の身近な場所に図書コーナーを設置し、手に取りやすく、興味・関心を高める工夫をするなど、環境の充実を図った。また、県立図書館等のセット貸出しを積極的に利用して、より多くの選択肢の中から本を選ぶことができるようにした。

❖参考DATA

校内の読書環境の整備と改善に定期的に取り組んでいる特別支援学校の割合

: (H29) 100%

(3) 学校図書館の活性化支援と地域開放

①情報提供や貸出しによる支援

小・中・高等学校17校を訪問し、学校図書館の環境整備や活用状況について把握するとともに、先進事例の紹介や改善のための助言を行った。

また、「読書活動だより むすぶ」で、訪問校や「子どもの読書活動優秀実践校」として文部科学大臣表彰を受けた学校の特色ある取組を紹介するとともに、生涯学習課ホームページに掲載した。

県立図書館の貸出しによる支援では、高等学校・特別支援学校の図書館担当者からのリクエストを受けて、図書セット資料の大幅な更新を行い、児童生徒の読書環境を整備した。

○平成29年度文部科学大臣表彰

【子どもの読書活動優秀実践校・図書館・個人】

- ・ 潟上市立天王小学校、横手市立横手北中学校、秋田県立湯沢翔北高等学校
- ・ にかほ市立図書館こびあ
- ・ 加々谷佐紀子（秋田市）

❖参考DATA

読書活動だよりでの小・中学校、高等学校、特別支援学校の事例紹介数

: (H29) 13件

▼学校図書館の取組の様子



▼「むすぶ」で県内の取組を詳しく紹介（隔月発行）



読書活動だより むすぶ 検索

❖参考DATA

県立図書館から学校図書館への年間貸出冊数：(H29) 11, 147冊

県立図書館の学校向け図書の年間購入冊数：(H29) 1, 966冊

②県立学校図書館職員等への研修機会の提供

県立学校の図書館関係職員や高等学校の図書委員会生徒を対象として、能力の向上や相互交流の活性化を図るため、県立図書館の資料を活用した研修会を実施した。



◀学校図書館職員等研修会の様子

○開催状況

平成29年8月1日（火）

於 秋田県立図書館3階多目的ホール

○内容

講義・ワークショップ

「本の保存と修理の基礎」

○参加者数

教職員9名 生徒16名 計25名

❖参考DATA

「研修に満足した」と答える参加者の割合：(H29) 96.0%

③地域開放に向けた取組

保護者や地域の人々との連携協力による学校図書館の環境整備や、図書室だよりによる家庭や地域への学校図書館の情報提供などの事例を紹介し、学校図書館をきっかけとした学校と地域の結び付きを強めた。

❖参考DATA

学校図書館を地域に開放している学校の割合

《隔年調査のためH29は調査なし》：(H28) 5. 1%

(4) 大学図書館と県立図書館との連携強化

県立図書館と相互協力協定を締結している大学図書館(秋田大学、秋田県立大学、国際教養大学)との間で、各館の所蔵資料を利用者が活用できるよう、相互貸借を推進した。

❖参考DATA

県立図書館と大学図書館との相互貸借における

年間貸出冊数：(H29) 367冊

年間借受冊数：(H29) 47冊

(5) 職場における読書環境の整備

①企業内文庫の設置

読書時間の確保が難しい働き盛り世代等の読書環境を整えるため、企業内文庫の先進事例として秋田ノーザンハピネッツ(株)の取組を紹介するリーフレットを作成し、出前講座等の機会に企業に紹介するなど、その普及に努めた。

▼企業としての読書活動「HONTOKU」(ホントク)を紹介した「秋田ノーザンハピネッツとハッピー読書」リーフレット(18,000部作成)



②女性の活躍を応援する読書活動の推進

出前講座等の機会やSNS等で、女性にお勧めする本を紹介・展示したり、読書活動推進パートナー支援事業の設置箇所等について周知するなど、企業社員等の読書意識の向上を図った。

❖参考DATA《H29県民意識調査》

「1日平均30分以上読書をしている」と答えた人の割合

30歳代：29.6%

40歳代：32.1%

読書時間が確保できない理由(2つまで回答)

①仕事が忙しい 32.2%

②他に興味のあることやその活動が忙しい 30.7%

③視力が衰えたため 24.3%

「1日平均30分以上読書をしている」と答える女性の割合 41.3%



◀出前講座で女性にお勧めの本を紹介する様子

平成29年6月7日(木)

秋田市南部市民サービスセンター

(6) 仕事や就労に関連する読書支援

仕事上の課題解決や就労のための資格取得等を支援するため、県立図書館において、資料の整備や関係機関のパンフレットの提供等により「ビジネス支援コーナー」の充実を図った。

また、県内の市町村立図書館等に、ビジネス支援サービスについての情報提供やコーナー設置の助言等を行った。



▲ビジネス支援コーナー

❖参考DATA

「ビジネス支援サービスを知っている」と答える利用者の割合《隔年調査》

：(H29) 66.7%

「ビジネス支援サービスに満足している」と答える利用者の割合《隔年調査》

：(H29) 70.4%

市町村立図書館等のビジネス支援サービス実施館数：(H29) 14館

◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

○ 児童・生徒・学生の読書への興味・関心を高める取組

①小・中学生が主体的に読書ができるような授業づくりの紹介

教科書教材と関連する図書を読書活動に取り入れたり、図書資料を意図的に活用したりする授業実践を紹介するなど、各学校で図書資料を活用した主体的な学習活動を促す先進的な取組について情報提供を行った。

❖参考DATA

「週1回以上学校図書館に行く」と答える児童生徒の割合

: (H29) 12.6%

②高校生の主体的な読書活動の充実

社会に出てからも読書時間を確保し、生涯にわたって読書に関心を持つことができるよう、学校間での先進事例の共有化を図った。

また、ゲーム感覚で好きな本を紹介するビブリオバトルをきっかけとして、読書の楽しさを知り、仲間づくりやコミュニケーション力の向上につながるよう、積極的な参加を促した。

○開催状況

- ・中学生大館大会（於 大館市立栗盛記念図書館）
平成29年9月23日（土） 5名参加
- ・高校生大館大会（於 大館市立栗盛記念図書館）
平成29年10月14日（土） 10名参加
- ・中学生能代大会（於 能代市立図書館）
平成29年9月24日（日） 7名参加
- ・高校生能代大会（於 能代市立図書館）
平成29年9月24日（日） 5名参加
- ・中学生秋田大会（於 ふれあーるAKITA）
平成29年9月30日（土） 3名参加
- ・高校生秋田大会（於 ふれあーるAKITA）
平成29年9月30日（土） 9名参加
- ・高校生由利本荘大会（於 由利本荘市文化交流センターカダーレ）
平成29年10月1日（日） 3名参加
- ・中学生及び高校生大仙大会（於 大仙市大曲交流センター）
平成29年9月30日（土） 中学生7名参加、高校生4名参加
- ・中学生及び高校生横手大会（於 横手Y²ぷらざ）
平成29年10月14日（土） 中学生13名参加、高校生4名
- ・全県大会（於 イオンモール秋田1階セントラルコート）
平成29年11月3日（金） 地区大会を勝ち抜いた17名が参加

※開催内容の詳細については、p.32を参照

❖参考DATA

1 か月 1 回以上学校図書館等を利用する高校生の割合：(H 2 9) 2 2. 8 %

1 か月に本を 1 冊以上読む高校生の割合：(H 2 9) 6 0. 4 %

③特別支援学校における読書活動の充実

学校訪問や会議の機会に、読書環境の重要性について情報提供し、更なる取組の実施を働きかけた。各校では、児童生徒自身が校内外で読み聞かせや図書の紹介を行ったり、保護者や地域ボランティアによる読み聞かせを取り入れたりすることで、本に親しむことができる機会を数多く設けた。

また、学校によっては、本や読書に対する幼児・児童・生徒の興味・関心を高め、表現力や感性を育むために、教員が県立図書館や市立図書館で研修を受け、指導に生かした。



◀読み聞かせボランティアによる学習

❖参考DATA

特別支援学校において様々な読書活動に関わり、本に親しんだ幼児・児童・生徒の割合：(H 2 9) 1 0 0 %

④図書館における読書への興味・関心を高める取組

県立図書館において、小・中・高等学校のセカンドスクール*的利用(21校・129人)や、大学生のインターンシップを受け入れ、校種別に合わせた体験内容を提供することにより、図書館の仕事や役割について理解を深めるとともに、読書に対する関心を高める取組を行った。なお、利用した生徒へのアンケートでは、図書館の機能について理解し、職業について考えるきっかけとなったという声が数多く寄せられた。

※セカンドスクール

児童生徒が学校を離れた場所で、様々な自然体験や社会体験を行う授業。

図書館においては図書館職員の体験を行う。

❖参考DATA

「セカンドスクール的利用等に満足した」と答える児童・生徒・学生の割合
：(H 2 9) 7 7. 8 %

「図書館の仕事・役割を理解した」と答える児童・生徒・学生の割合
：(H 2 9) 9 7. 8 %



▲セカンドスクールにおける施設見学・職場体験の様子

3 地域における読書活動の推進

◆あなたの「読みたい！」をサポートします

(1) 様々なシーンで読書に親しむ活動の推進

① プロスポーツチーム等との連携による読書活動の推進

プロスポーツチームと連携し、選手やスタッフが読書を勧めるポスター・リーフレットの配布や、リーフレット掲載図書の貸出パックによる市町村立図書館への貸出しを行った。

また、市町村立図書館等でマスコットキャラクターと利用者が一緒に絵本の読み聞かせや本の貸出しを行うイベントを開催するなど、スポーツが持つ集客力や情報発信力を活用して、県民が読書に親しむことができる環境づくりを行った。

「秋田ノーザンハピネッツとハッピー読書」(バスケットボール)

▼「ビッキー」から図書を貸し出してもら
う子どもたち(男鹿市立図書館)



▼ポスター



○連携事業内容

- ・読書啓発ポスター、リーフレットの作成と配布
主な配布先…公立図書館等、県内高校2年生全生徒、中学校、
大学附属図書館、書店
ホームゲームの観客
- ・読書啓発ノベルティの作成と配布
主な配布先…秋田ノーザンハピネッツの学校訪問先児童
読書関連イベント等参加者、県庁見学児童等
- ・選手の学校訪問におけるお薦め本の紹介など
(井川町立井川小学校等 10回 児童数計766名)
- ・読み聞かせイベントへの「ビッキー」の出演
(男鹿市立図書館等2回 参加者約95名)
- ・「秋田ノーザンハピネッツとハッピー読書」貸出パック利用件数 4件

「ブラウブリッツとエンジョイ読書」(サッカー)

▼「ブラウゴン」のクイズを楽しむ子ども

たち(秋田市立中央図書館明徳館)



▼リーフレット(表面)



○連携事業内容

- ・読書啓発ポスター、リーフレットの作成と配布
主な配布先…公立図書館等、県内小学4年生全児童、特別支援学校、書店、
市民サービスセンター等
- ・読書啓発ノベルティの作成と配布
主な配布先…ブラウブリッツ秋田の学校訪問先児童
読書関連イベント等参加者
- ・選手の学校訪問におけるお薦め本の紹介など
(秋田市立御所野小学校等 4回 児童数計310名)
- ・読み聞かせイベントへの「ブラウゴン」の出演
(秋田市立中央図書館明徳館等 2回 参加者約50名)
- ・「ブラウブリッツ秋田とエンジョイ読書」貸出パック利用件数 6件

②様々な県民運動との連携による読書活動の推進

横手市との共催により開催した「ふるさとの文学と読書のつどい2017in横手」において、「秋田県花いっぱい運動の会」から、「花で読書を応援する」として、ステージ花や座談会用のブーケに秋田県のオリジナル品種「NAMAHAAGEダリア」を中心としたアレンジメントの提供を受け、好評を博した。

また、「子育て応援団実行委員会」(ABS秋田放送・県・秋田市ほか)が主催する「すこやかあきた2017」に、秋田県読書活動推進本部(総合政策課・県立図書館)として参加し、来場者を対象とした絵本ブースを出展した。



花いっぱい運動の会 ▲▶
協賛のNAMAHAAGEダリアを
中心とした県産花
(「ふるさとの文学と読書のつどい
2017 in 横手」会場)



◀「すこやかあきた2017」
出展ブース
【全体入場者数約36,700人】

❖参考DATA (「ふるさとの文学と読書のつどい」参加者アンケート)
「満足した」と答える参加者の割合：(H29)74.4%

③県児童会館での子どもの読書活動の推進

県子ども読書支援センター*が、県児童会館図書室に対し、子ども向けの図書の貸出しや、図書室の運営についての支援を行い、子どもが本に触れ、読書の楽しさを体験する機会を増やした。

※県子ども読書支援センター

子どもの読書活動に関する広報、啓発、調査研究活動や各種イベントの開催を行うことを目的に県立図書館内に設置されている。同支援センタースタッフが「えほんのへや」で子どもの読書に関する相談を受け付けるほか、県内の読書ボランティア団体や学校図書館、保育園、幼稚園を対象に読み聞かせ資料の貸出し等も行っている。

❖参考DATA

県子ども読書支援センターから県児童会館図書室への資料貸出冊数

: (H29) 1,051冊

④「子ども読書の日」の周知と取組奨励

「子ども読書の日」啓発ポスターを幼稚園や学校、社会教育施設、書店等に配布し周知を図るとともに、「こどもの読書週間」における市町村の読書関係事業の取組(全県220イベント)の中から、特色ある事業を読書だより「むすぶ」で紹介した。

2017年度「子ども読書の日」ポスター▼

○子ども読書の日

「子どもの読書活動の推進に関する法律」で4月23日が「子ども読書の日」と定められている。

これは、シェイクスピア(英国)とセルバンテス(スペイン)の命日である4月23日をユネスコが「世界・本と著作権の日」と宣言していることにちなむ。

○サン・ジョルディの日

日本では出版関係団体が、4月23日を親しい人に本を贈る「サン・ジョルディの日」として呼びかけている。

(サン・ジョルディはスペインの守護聖人名。カタルーニャ地方では命日に本の市が立ち、花と共に本を贈り合う習慣がある。)



⑤生涯学習としての読書活動の奨励

「あきたスマートカレッジ」では、文学関連の講座として「文学リレー講座」全12回、「俳句入門講座」全3回を開催した。講座修了後も、さらに学びを継続し、深めるため、それぞれの受講者が中心となって自主学習グループを立ち上げ、講座を開催した。

また、各市町村の要望に応じて生涯学習手帳を配布し、その活用を促すとともに、学習単位の認定と称号の授与を行った。

❖参考DATA

講座や読書活動で生涯学習手帳を活用している市町村の割合

: (H29) 96.0%

生涯学習手帳の活用について

○学習単位の認定

1 単位：①県や市町村、大学、関連団体、企業等が主催する事業や講座の受講
90分

②個別学習（放送大学1講座、読書1冊、博物館・美術館等の見学）

③奨励活動（講座の指導者、ボランティア活動等）

○称号の授与

☆わかすぎ・マナビスト	50単位修得・・・高校生以下が対象
☆ブロンズ・マナビスト	100単位修得
☆シルバー・マナビスト	300単位修得
☆ゴールド・マナビスト	500単位修得
☆プラチナ・マナビスト	1000単位修得＋論文提出



▲文学愛好会の様子



▲須磨句会の様子

（２）市町村立図書館等の利用促進

①地域の人材や資料等の特徴を生かした利用促進

「読書活動だより むすぶ」で県内の様々な取組を紹介し、学校や社会教育機関等へ配布するとともに、生涯学習課ホームページに掲載した。

また、県や市町村の読書推進担当者が集まる会議等において、学校図書館等の取組に関する情報提供を行った。

読書活動だより むすぶ 第55号
平成29年7月27日発行
秋田県教育庁生涯学習課 社会教育・読書推進班

学校図書館活性化支援による学校訪問
魅力的な学校図書館づくりが進められています

昨年度から、県立図書館では、学校図書館を訪問し、読書推進班と協力、展示等の展示を実施しながら、図書館運営や読書推進について、担当者と話合いをしています。今年度はこれまでの校の学校訪問を行いました。どの学校においても、読心地のよい読書スペース、展示・掲示及び読書の工夫、読書イベントの企画等、「読書センター」として魅力的な読書空間づくりが認められています。今後は、「学習センター」や「読書センター」としての機能を意識した取組を進めていく必要があることを共有することができました。

小・中学校では読書センターとしての機能の充実が図られています

【子どもたちをへつめよう入口】 【テーマ展示の工夫】 【POPで魅力的に書き紹介】

【おきき本の紹介】 【新刊本の紹介】 【読書スペースを有効活用】

「読書検ががき」コンクール
本を讀んでイメージした場面を、はがき（はがきサイズの縦判用紙）に、絵で表した作品を募集します。応募対象者は、県立から中学生まで、秋田県立図書館で10月30日（金）までです。おしりください。

ただ今 募集中です!!

「ビブリオバトル」を今年度も開催します
今年度もビブリオバトルを県内8会場で開催します。これまでの県立大会に加え、中学生大会も行います。昨年度までの大会で、県立大会の参加者を募集していた中学生からは、県立大会にも参加させてほしいとの声が多く寄せられておりました。バトルを行うための本の選定を助けるのを期して、一歩踏み込んだ本を推薦で取ります。それぞれの地区大会から、全県大会に出場させる一冊を授けようと思います。詳細は生涯学習課 112号で今後お知らせします。

◀学校図書館活性化支援による学校訪問を特集した「読書活動だより むすぶ」第55号（平成29年7月27日発行）

読書活動だより むすぶ 検索

②県立図書館の支援による利用促進

県立図書館や県子ども読書支援センターの資料を市町村立図書館等へ貸し出し、住民の図書館利用や読書活動を支援した。

また、市町村立図書館等を延べ141館訪問し、図書館運営等に関する助言や情報提供を行ったほか、電話やメールでの相談に対応した。



▲市町村立図書館向けセット資料を貸出し

❖参考DATA

県立図書館から市町村立図書館等への年間貸出冊数：(H29) 24,403冊

県立図書館への市町村立図書館等からの相談件数：(H29) 22,182件

③市町村立図書館等職員の育成

市町村立図書館等の職員を対象とした図書館の運営に関する研修会を県立図書館で開催したほか、市町村立図書館等への出前型研修を実施した。

また、地域の読書推進の取組を主体的に実施できるリーダー的な役割を担う職員の育成を図った。



▲県立図書館での研修の様子



▲出前型研修会の様子

❖参考DATA

「研修に満足した」と答える参加者の割合：(H29) 100%

◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

(1) 読書ボランティア等への支援

①地域の読書活動を支える人づくり

市町村立図書館や学校等において読み聞かせ・朗読等を行う読書ボランティアを新規に養成するため、高校生、パパママ世代、シニア世代と各世代別の講座を県内各地区において実施した。

また、全県のボランティアのネットワーク化を図り、各自のスキルの向上と情報共有につなげるための交流会を開催した。

○「世代別ボランティア養成講座」

①高校生コース 3会場（鹿角市、由利本荘市、美郷町） 参加者合計51名

②パパママコース 5会場（大館市、能代市、秋田市、横手市、湯沢市）
参加者合計59名

③シニアコース 1会場（北秋田市） 参加者29名

○「全県読み聞かせボランティア交流会」

秋田拠点センターアルヴェ（秋田市） 参加者60名

【参加したボランティアの感想】

- ・各発表者の工夫を凝らした作品（エプロンシアター、紙芝居等）に刺激をいただきました。
- ・読み聞かせをしている人がこんなにいることに驚きました。
- ・はじめたばかりの私にはとても刺激的で、すべてが楽しく参考になりました。



▲ボランティア養成講座（高校生コース）



▲全県読み聞かせボランティア交流会

❖参考DATA

「研修に満足した」と応える参加者の割合：（H29）97.1%

❖参考DATA

○読書ボランティアの活動状況

- ・地域で活動するボランティアは高齢化の傾向にあり、後継者の育成や新規会員の獲得が課題となっている。

・県内の公立図書館等で活動するボランティア団体数（各教育事務所調査より）

	県北地区	中央地区	県南地区	合 計
H 2 7	3 1 団体	4 7 団体	2 7 団体	1 0 5 団体
H 2 8	3 2 団体	4 9 団体	2 7 団体	1 0 8 団体
H 2 9	2 8 団体	5 2 団体	2 6 団体	1 0 6 団体

②読み聞かせ団体等への活動支援

県内の読み聞かせ団体等の活動を支援するため、県立図書館と県子ども読書支援センターがボランティア団体等への資料の貸出しを行った。

❖参考DATA

県子ども読書支援センターからボランティア団体等への年間貸出冊数
: (H 2 9) 3, 4 8 3 冊
県立図書館からボランティア団体等への年間貸出冊数 : (H 2 9) 5 4 5 冊

(2)「秋田県読書フェスタ」の開催

10月21日(土)～11月5日(日)に秋田県読書フェスタを開催し、全県で171イベントを実施した。期間中は、中・高校生ビブリオバトル全県大会等の県主催事業のほか、全ての市町村の図書館・公民館等で、おはなし会や図書展示、講演会等が行われ、子どもから大人まで幅広い世代の県民に、本に親しむ機会を提供することができた。

❖参考DATA

「秋田県読書フェスタ」における県主催の読書イベントの参加人数
: (H 2 9) 1, 0 7 5 人

(3) デジタルアーカイブの活用促進

県内の教育機関や県立図書館等が所蔵している資料等の情報を一元的に検索できるポータルサイト「秋田県立図書館デジタルアーカイブ」により、県民への情報提供サービスを行った。

秋田県立図書館デジタルアーカイブ	検索
------------------	----

❖参考DATA

秋田県立図書館デジタルアーカイブの登録データ数
: (H 2 9) 6 0 7, 1 9 3 件
閲覧回数 : (H 2 9) 3 7, 2 2 5 件

※デジタルアーカイブ

参加機関

県立図書館、あきた文学資料館、
県立博物館、近代美術館、
埋蔵文化財センター、
生涯学習センター、公文書館



4 県民協働による読書活動の推進

◆あなたの「読みたい！」をサポートします

(1) 県と市町村との協働による推進体制の強化

「秋田県読書活動推進連絡協議会」の全体会と地区会議を開催し、公立図書館や学校図書館の現状について情報を交換したほか、「企業版ふるさと納税制度(地方創生応援税制)」を活用した「読書活動推進パートナー支援事業」を5市町で実施するなど、県と市町村が協働で地域における読書環境の充実に取り組んだ。

○平成29年度秋田県読書活動推進連絡協議会の活動

【開催日時と主な議題】

- | | |
|------|--|
| 全体会 | 平成29年4月25日(火) 秋田市 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度活動報告と平成29年度の事業について ・事例紹介「八峰町移動図書館車導入事業」 ・意見交換「地域の読書活動を住民と共に盛り上げていくには」 |
| 地区会議 | <p>県北地区 平成29年7月19日(金) 八峰町</p> <p>県央地区 平成29年7月 7日(金) 潟上市</p> <p>県南地区 平成29年7月21日(金) 横手市</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・読書活動推進パートナー支援事業について ・読書が広がるホップ・ステップ・ジャンプ事業について ・ふるさと文学と読書のつどい2017 in横手について ・意見交換「学校図書館の現状について」 |

(2) 県民の寄贈によるリレー文庫の普及



子どもたちの身近な場所での読書環境づくりや、大人の読み聞かせを進めるため、県民から絵本の寄贈を受け、修繕の上、保育所や幼稚園などの施設や病院・商店街などに配布して、子どもたちに読書の楽しさをリレーした。

◀「読んだッチ・リレー文庫」のポスター

(県内公立図書館、保育所・幼稚園・認定こども園、子育て支援施設、医療機関等に配布)

❖参考DATA

読んだッチ・リレー文庫の状況：(H29)

寄贈冊数 2,269冊、寄贈者数 133人

配布施設数 86か所

※ H23～28年度の「スギッチリサイクル文庫」を H29年度に「読んだッチ・リレー文庫」と改称した。

(3) 青少年健全育成における読書活動の推進

青少年健全育成審議会(環境浄化部会)で推奨された優良図書の県公報における告示、あきたブックネットや次世代・女性活躍支援課のホームページへの掲載などを行い、県民への周知を図った。

2017年11月21日推奨 優良図書

バッタを倒しにアフリカへ

著者:前野ウルド浩太郎 発行所:株式会社光文社

■推奨理由

緑色の全身タイツに身を包み、バンザイをして群れの中に身を投じる…著者はバッタアレルギーのため、バッタに触れるとひどいかゆみに襲われるという奇病を持った30歳代のバッタ博士。バッタに食べられたい、という少年の頃の夢を叶え、昆虫学者としての研究費を得るため、バッタの大発生で深刻な飢饉が起こっている砂漠の国・西アフリカのモーリタニアへと旅立つ。やること成すこと奇想天外でありながら、バッタに賭ける本気で周囲を動かしていく。秋田県立秋田中央高等学校出身の著書が、様々な人との出会いを大切に、チャレンジ精神で自分の道を切り開いていく姿が描かれており、前向きになれる一冊。



(4) 高齢者への読書活動推奨

高齢者の読書活動を一層推進するため、秋田LL大学園などの関係団体の協力を得ながら、高齢者の読書意欲喚起のための情報提供を行った。



◀出前講座で朗読で作品を楽しむ高齢者（秋田市：保戸野地区高齢者学級）

「第3回ふるさと秋田文学賞」受賞作品の朗読などのほか、図書館の大活字本やシニアコーナーなどについても紹介し、高齢者の読書意欲を喚起した。

高齢者を対象とした出前講座

5月19日（金）秋田市保戸野地区高齢者学級	（参加者27名）
7月13日（木）秋田市中通地区高齢者学級	（参加者17名）
11月8日（水）秋田市 成人学級「さわやかサロン」	（参加者14名）

（5）視覚障がい者の読書推進

障がい者の読書機会の充実を目指して、秋田県点字図書館においてボランティアを中心に点字図書や音声図書等の製作を行い、視覚障がい者への図書提供サービスの向上に努めた。

○図書製作	{	点字図書：191タイトル
		音声図書：162タイトル
○図書貸出し	{	点字図書：390タイトル
		音声図書：6,148タイトル
		定期刊行物：10,879タイトル

（6）民間企業・団体等との連携による読書活動の推進

①雑誌スポンサー制度*の充実

企業が雑誌のスポンサーとなり、県立図書館や市町村立図書館等への雑誌の提供を行い、雑誌コーナーの充実を図った。

また、県立図書館では、企業活動を県民に周知するための雑誌スポンサー紹介コーナーの設置や、スポンサー同士の情報交換・研修を目的とした交流会の開催を行った。



▲雑誌スポンサー紹介コーナー



▲雑誌スポンサー交流会「ビジネスカフェ」

※雑誌スポンサー制度

図書館の雑誌に民間企業等の情報発信を組み込み、雑誌コーナーの充実を図ることを目的とした資料寄贈の制度。選書は図書館で行い、スポンサー企業は購読料を負担する。対象となる雑誌には専用カバーを取り付けてあり、スポンサーとなっている企業名や広告を表示することができる。

❖参考DATA

公立図書館のスポンサー企業数：(H29) 70企業

②外部機関等と連携した図書館利用促進

県立図書館の情報提供機能を一層充実させるため、県の関係機関等と連携した展示等を開催した。



▲埋蔵文化財センターと連携した特別展示



▲秋田魁新報社との連携による『秋田魁新報紹介コーナー』

❖参考DATA

外部機関等と連携したイベント開催回数：(H29) 67回

イベント参加者数：(H29) 22,313人

③書店団体等と連携した読書活動の推進

書店の多くが、市町村立図書館等と連携して、地域の読書拠点となっていることから、プロスポーツ等連携事業のポスターの配布やイベント情報の提供、SNSでの情報のシェアを行った。また、「ふるさと文学と読書のつどい2017in横手」において、協働してブックフェアの開催等を行い、県民の読書活動を推進した。



▲「ふるさと文学と読書のつどいin横手」会場のブックフェア



▲公式Twitter「あきたブックネット」で情報提供（県内書店Twitterをリツイート）

◆「読書は楽しい！」の気持ちを広げます

(1)「ビブリオバトル」の普及と大会開催

中学生・高校生ビブリオバトルの地区大会を県内6地区で実施し、70名が出場した。中学生大会は初めての開催であった。11月3日(金)の全県大会には選抜された17名が出場し、チャンプに選ばれた出場者が、平成30年1月及び3月に東京で行われた全国大会に県代表として参加した。

また、11月から12月にかけて県内の6書店でビブリオバトルの紹介本コーナーが設けられるなど、民間による読書推進の動きにつながった。



◀全県大会の決勝に進出した
中・高校生バトルー

○平成29年度ビブリオバトル秋田県大会 決勝に進出した本

【中学生の部】

「カブキブ！」(榎田ユウリ 著) **チャンプ本**

「たとえ明日、世界が滅びても今日、僕はリンゴの木を植える」(瀧森古都 著) **準チャンプ本**

『楽天力』を身につける10の法則」(植村聡 著)

「見てる、知ってる、考えてる」(中島芭旺 著)

「マリアビートル」(伊坂幸太郎 著)

【高校生の部】

「阪急電車」(有川浩 著) **チャンプ本**

「浜村渚の計算ノート」(青柳碧人 著) **準チャンプ本**

「世界から猫が消えたなら」(川村元気 著)

「ノーライフキング」(いとうせいこう 著)

❖参考DATA

ビブリオバトル参加後「読書がしなくなった」と答える参加者の割合

: (H29) 92.8%

(2)「読書絵はがきコンクール」の開催

応募総数の651作品(平成28年度722作品)を県児童会館等2館で展示し、

子どもたちによる読書の楽しさを発信する機会を設けた。

(3) 幼少期からの読書活動推進体制の強化

市町村の読書推進担当者が出席する会議等において、学校図書館訪問によって把握した取組事例や課題等について報告し、子どものための読書環境整備への理解と協力を求めた。

また、市町村訪問等の機会を活用して読書推進を担う現場の課題やニーズを把握して施策への反映に努めた。

(4) 「県民読書の日」の啓発

11月1日の「県民読書の日」に合わせ、横手市ほか関係団体と実行委員会を組織して「ふるさと文学と読書のつどい2017 in 横手」を実施するなど、県民の読書活動推進のための各種イベントの開催や広報等を行った。

また、「県民読書の日」制定記念事業として創設された「ふるさと秋田文学賞」への募集や受賞作品集の刊行を行い、県民の読書意欲を喚起した。



◀ 高校生による第2回ふるさと秋田文学賞
受賞作品の朗読



「若者を引き込む読書の魅力とは」▶
座談会

第4回「ふるさと秋田文学賞」

○受賞作品

【小説の部】

《ふるさと秋田文学賞》

ヘミングウェイに聞いてみて

夢野寧子（東京都板橋区）

《同 佳作》

みずのたたき、てふてふの花

渡部麻実（神奈川県横浜市／秋田市出身）

【随筆・紀行文の部】

《ふるさと秋田文学賞》

譲り葉

青山トーゴ（大阪府大阪市／井川町出身）

《同 佳作》

「生きる」 父の愛した映画

鹿住敏子（埼玉県白岡市／大仙市出身）

○応募状況

- ・応募作品数 106点（小説48点 随筆・紀行文58点）
- ・県内34点 県外72点

「ふるさとの文学と読書のつどい2017 in横手」の概要

1 目的

「県民読書の日」を契機として、ふるさが生んだ文学に光を当て、秋田の人や風土、歴史をたどりながら、「秋田ならではの知の豊かさ」を再認識するとともに、「若者を引き込む読書の魅力とは」をテーマに話し合い、日本一の読書県を目指して読書活動推進の機運を高める。

2 主催

読書のつどい2017 in 横手実行委員会
(横手市・秋田県 ほか)

3 協賛

公益社団法人秋田県市町村振興協会

4 後援

秋田魁新報社ほか、マスコミ15社

5 開催日時

平成29年10月28日(土) 13:30～15:30

6 会場

横手市平鹿生涯学習センター(浅舞公民館)
(横手市平鹿町浅舞字覚町後140 TEL 0182-24-1340)
※JR横手駅西口から会場までシャトルバスを運行

7 参加人数

350名

8 内容

I 「県民読書の日」制定記念

第4回「ふるさと秋田文学賞」表彰式

II 高校生による作品朗読

第2回ふるさと秋田文学賞受賞作品『横手盆地で農を継ぐ』(鈴木利良著)
(朗読) 県立横手高校放送部

III 座談会「若者を引き込む読書の魅力とは」

(出演) 壇 蜜(俳優)

細谷 拓真(医師、NPO法人Yokotter(ヨコッター)理事長)

西木 正明(作家・日本ペンクラブ副会長)

佐竹 敬久(秋田県知事)

コーディネーター: 伊藤 孝俊(横手市教育長)

※冒頭で読書に関する若者へのインタビューを紹介

IV 「読書のつどいin横手実行委員会」委員長あいさつ(横手市長)

❖参考DATA

「ふるさとの文学と読書のつどい」参加者アンケートで、
「県民読書の日」を知っていると答える参加者の割合

: (H29) 38.5%

第4回ふるさと秋田文学賞受賞作品集▶



(5) 読書の楽しさを伝えるために活動している県民の紹介

私設図書館、読み聞かせボランティアグループ、郷土にゆかりのある歌人や詩人の研究会などを、行動人ウェブサイトで紹介した。平成29年度の紹介者数は404人となり、平成27年度からの累計は711人を数えた。



◀読みかたりグループ「つくしんぼ」の活動

※詳しくは、「秋田県生涯学習支援システム（通称：まなびサポート秋田）」の行動人ウェブサイト参照

行動人	検索
-----	----

5 効果測定項目と数値目標・実績一覧

(表の見方)

◆「施策の柱」欄

I 家庭における読書活動の推進 ……19項目

II 学校・職場における読書活動の推進 ……21項目

III 地域における読書活動の推進 ……13項目

IV 県民協働による読書活動の推進 ……11項目

計 64項目

	施策の柱	施 策	効果測定項目	数値実績				ページ
				H27	H28	H29	H32目標	
1	Ⅰ	家族で読書運動の提唱と普及	週3時間以上(または1日30分以上)読書をする人の割合	54.4%	47.9%	40.1%	70.0%以上	7
2		子ども向け資料の充実	0～12歳の年間新規登録者数	510人	450人	455人	570人	7
3		子どもの読書に関する相談活動、おはなし会等の充実	相談件数	140件	139件	224件	150件	7
4			おはなし会実施回数	21回	24回	24回	23回	7
5			おはなし会参加人数	580人	592人	577人	690人	7
6		医療・保健分野との連携による子どもの読書習慣づくり	協力病院等数	—	184施設	179施設	50施設	8
7		中・高校生の読書推進	13～18歳の年間新規登録者数	219人	201人	157人	300人	9
8		高齢者向け資料の整備、シニアコーナーの充実	60歳以上の年間新規登録者数	297人	292人	277人	360人	9
9		高齢者などへの読書支援	電話(対面)朗読ボランティア活用者実数	9人	11人	14人	50人	9
10		県立図書館の資料の整備と充実	年間購入冊数	14059冊	14,894冊	13,967冊	※1 約13,500冊	10
11		生活課題解決のための読書や図書館利用の促進	「取組を知っている」と答える利用者の割合	4.0%	隔年調査	68.0%	30.0%	10
12			「取組に満足している」と答える利用者の割合	—	上記と同時調査	85.9%	60.0%	10
13			市町村立図書館等のサービス実施館数	40館	43館	51館	50館	10
14		県民の読書ニーズに対応できるサービス機能の強化	「レファレンス・サービスを知っている」と答える利用者の割合	33.0%	隔年調査	59.6%	50.0%	11
15			「レファレンス・サービスに満足している」と答える利用者の割合	—	上記と同時調査	91.1%	60.0%	11
16		電子書籍を活用した図書館サービスの充実	電子書籍所蔵点数	4,906点	4,906点	4,906点	10,000点	11
17			年間利用点数	289点	70点	24点	1,000点	11
18		ホームページやブログ等を活用した情報発信	県立図書館ホームページのアクセス数	265,337件	250,146件	243,945件	270,000件	12
19			「あきたブックネット」のアクセス数	908件	4,932件	9,347件	2,000件	12
Ⅰ 家庭における読書活動の推進 計19項目								

※1～H26の購入実績を基準とみなした冊数。

※2～平均的な単価を1,600円として現行予算で算出した冊数。

※3～H27年度から訪問形態を各市の中央図書館での集合型に変更。相談が集約される傾向にあるため。

※4～市町村立図書館等を通じた地域ボランティア支援の定着化傾向とH27年度実績見込みから推定。

	施策の柱	施 策	効果測定項目	数値実績				ページ
				H27	H28	H29	H32目標	
20	Ⅱ	就学前施設における読み聞かせの推奨	受講者の肯定的評価の割合	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	13
21		特別支援学校における取組	校内の読書環境の整備と改善に定期的に取り組んでいる学校の割合	80.0%	100%	100%	100%	14
22		学校図書館の活性化支援 (情報提供や貸出による支援)	小・中学校、高等学校、特別支援学校の事例紹介数	7件	14件	13件	(累計) 50件	14
23			学校図書館への年間貸出冊数	9,737冊	10,942冊	11,147冊	10,000冊	15
24			学校向け図書の年間購入冊数	355冊	2,419冊	1,966冊	※2 300冊	15
25		県立学校図書館職員等への研修機会の提供	「研修に満足した」と答える参加者の割合	—	96.0%	96.0%	80.0%	15
26		地域開放に向けた取組	学校図書館を地域に開放している学校の割合（隔年調査）	(H26) 2.6%	5.1%	隔年調査	10.0%	16
27		大学図書館と県立図書館との連携強化	大学図書館との相互貸借の年間貸出冊数	401冊	349冊	367冊	350冊	16
28			大学図書館との相互貸借の年間借受冊数	43冊	66冊	47冊	60冊	16
29		職場における読書環境の整備 (企業内文庫の設置)	「1日平均30分以上読書をしている」と答える 30～40歳代の割合	30歳代 46.1%	35.2%	29.6%	55.0%	17
				40歳代 47.7%	32.4%	32.1%	55.0%	17
30		女性の活躍を応援する読書の推進	「1日平均30分以上読書をしている」と答える女性の割合	52.6%	47.8%	41.3%	70.0%	17
31		仕事や就労に関連する読書支援	「取組を知っている」と答える利用者の割合	4.0%	隔年調査	66.7%	30.0%	17
32			「取組に満足している」と答える利用者の割合	—	上記と同時調査	70.4%	60.0%	17
33			市町村立図書館等のサービス実施館数	13館	15館	14館	20館	17
34		小・中学生が主体的に読書ができるような授業づくりの紹介	「読書が好き」と答える児童生徒の割合	55.1%	55.1%	55.0%	70.0%	12
35			「週に1回以上学校図書館等に行く」と答える児童生徒の割合	13.7%	13.4%	12.6%	20.0%	18
36		高校生の主体的な読書活動の充実	1か月に1回以上学校図書館等を利用する生徒の割合	19.3%	22.3%	22.8%	40.0%	19
37			1か月に本を1冊以上読む生徒の割合	59.9%	57.6%	60.4%	70.0%	19
38		特別支援学校における読書活動の充実	様々な読書活動に関わり、本に親しんだ幼児・児童・生徒の割合	75.0%	97.2%	100%	100%	19
39		図書館における読書への興味・関心を高める取組	「セカンドスクールの利用等に満足した」と答える児童・生徒・学生の割合	—	93.8%	77.8%	80.0%	19
40			「図書館の仕事・役割を理解した」と答える児童・生徒・学生の割合	—	95.3%	97.8%	80.0%	19
Ⅱ 学校・職場における読書活動の推進 計21項目								

	施策の柱	施 策	効果測定項目	数値実績				ページ
				H27	H28	H29	H32目標	
41	Ⅲ	様々な県民運動との連携による読書活動の推進	「満足した」と答える参加者の割合	—	79.7%	74.4%	80.0%	22
42		県児童会館での子どもの読書活動の推進	県子ども読書支援センターから県児童会館図書室への資料貸出冊数	1,226冊	1,033冊	1,051冊	1,200冊	23
43		「子ども読書の日」の周知と取組奨励	実施市町村数と取組件数	25市町村 150件	25市町村 195件	25市町村 220件	25市町村 200件	23
44		生涯学習としての読書活動の奨励	講座や読書活動で生涯学習手帳を活用している市町村の割合	72.0%	84.0%	96.0%	100%	23
45		県立図書館による市町村立図書館等の利用促進支援	市町村立図書館等への年間貸出冊数	23,747冊	22,682冊	24,403冊	22,000冊	25
46			市町村立図書館等の相談件数	199件	175件	182件	※3 220件	25
47		市町村立図書館等職員の育成	「研修に満足した」と答える参加者の割合	—	96.5%	100.0%	85.0%	25
48		地域の読書活動を支える人づくり	「研修に満足した」と答える参加者の割合	—	100%	97.1%	85.0%	26
49		読み聞かせ団体等への活動支援	県子ども読書支援センターの読書ボランティア団体等への年間貸出冊数	2,776冊	2,720冊	3,483冊	2,500冊	27
50			県立図書館からボランティア団体等への年間貸出冊数	748冊	542冊	545冊	※4 700冊	27
51		「秋田県読書フェスタ」の開催	県主催の読書イベントの参加人数	1,571人	1,636人	1,075人	1,900人	27
52		秋田県立図書館デジタルアーカイブの活用促進	登録データ数	601,879件	606,957件	607,193件	615,000件	27
53			閲覧回数	29,522件	33,400件	37,225件	30,000件	27
地域における読書活動の推進 計 13 項目								

	施策の柱	施 策	効果測定項目	数値実績				ページ
				H27	H28	H29	H32目標	
54	Ⅳ	県と市町村の協働による推進体制の強化	読書活動に関する市町村との意見交換会における意見等についての施策への反映	反映状況は年次報告書に記載				28
55		県民の寄贈によるリサイクル文庫の普及	リサイクル文庫寄贈冊数・配布か所数	2,418冊 49か所	2,363冊 129か所	2,269冊 86か所	1,800冊 80か所	29
56		視覚障がい者の読書推進	点字・音声による図書の製作・貸出数	製作251件 貸出7,399件	製作243件 貸出7,298件	制作353件 貸出6538件	製作550件 貸出8,200件	30
57		雑誌スポンサー制度の充実	公立図書館のスポンサー企業数	57企業	65企業	70企業	60企業	31
58		外部機関等と連携した図書館利用促進	イベント開催回数	61回	64回	67回	60回	31
59			イベント参加者数	23,267人	21,070人	22,313人	23,000人	31
60		「ビブリオバトル」の普及と大会開催	ビブリオバトル参加後「読書がしなくなった」と答える参加者の割合	—	95.6%	92.8%	80.0%	32
61		「読書絵はがきコンクール」の開催	作品展を実施する図書館等の数	1館	4館	2館	6館	32
62		幼少期からの読書活動推進体制の強化	秋田県子ども読書活動推進会議における協議内容の施策への反映	反映状況は年次報告書に記載				
63		「県民読書の日」の啓発	「県民読書の日」を知っていると答える参加者の割合	—	78.8%	38.5%	50.0%以上	34
64		読書の楽しさを伝えるために活動している県民の紹介	読書活動関連「行動人」数	125人	307人	711人	625人	35
Ⅳ 県民協働による読書活動の推進 計 11 項目								



© 2015 秋田県んだッチ